

小さな自然再生サミット2025京都大会

事例発表者の皆様へ

『当日の流れや注意事項についてのご案内』

2025年12月3日（水）

小さな自然再生サミット実行委員会事務局

2025年12月7日 『小さな自然再生サミット2025京都大会』 事例発表

1

当日の流れ（プログラム）

- 9:20： 事例発表者集合（宇治おおばくプラザ） ※9:20前は入場できません
- 9:20～： 受付、メインホール（きはだホール）の座席確保
- 9:30～9:50： 追加掲示物・展示物・配布物の設置・設営（各自）
- 10:00～： サミット開始

10:00	サミット開会 (実行委員長挨拶、来賓挨拶)	@きはだホール
10:15- 12:40	全国事例発表 (4分×30団体)	@きはだホール
12:40- 13:40	昼食＆事例発表者ポスター交流	@ハイブリットスペース
13:40- 16:00	パネルディスカッション ～「小さな自然再生」の次の一手を考える～ ※終了後に参加者全員で集合写真	@きはだホール
16:10- 17:00	茶話会	@ハイブリットスペース

- 17:00～17:20： 追加掲示物・展示物・配布物の片付け（各自）

2025年12月7日 『小さな自然再生サミット2025京都大会』 事例発表

2

事例発表団体一覧

No.	都道府県	発表タイトル	団体名
1	北海道	サクラマスが遡上する都市河川～琴似発寒川の未来へとつなぐ産卵場所づくり～札幌工業高等学校土木科の挑戦	北海道札幌工業高等学校土木科
2	北海道	手づくり魚道の「出口」をどう見定めるか～北海道・三郎川魚道の17年	NPO法人えんの森
3	茨城	生き物を増やす釣り人の活動 in 霊ヶ浦～魚道研修会後、さらにパワーアップ！～	NPO法人水辺基盤協会
4	栃木	小河川の雑魚爆増！竹束でつくる雑魚の大人気越冬地	栃木県立馬頭高等学校水産科
5	長野	小さな流域治水～学校から見た学びの場づくりとしての小さな自然再生～	更北中学校ものづくり部理科班
6	長野	耕作放棄地のビオトープから生まれるネイチャーポジティブ	高山村立高山中学校
7	福井	福井県南川における可搬魚道（ポートブル魚道）によるアユ、カジカ類の遡上効果	福井県立大学
8	福井	水の道再生プロジェクト～伝統技法（しかし、ボサ、石積み）による手しごと治水～	福井かひる山 風土舎
9	静岡	「小さな自然再生×自然学校」の取り組み～小さな自然再生の可能性を探る、芝川でのチャレンジ～	特定非営利活動法人ホールアース自然学校
10	静岡	二級河川瀬名新川～ご近所さん・大学生・ちょっと行政との協働による水辺の小さな自然再生～	瀬名新川★生き物育て隊（静岡県静岡土木事務所）
11	愛知	愛知のいい川づくり	愛知県建設局河川課
12	滋賀	家棟川にビワマスを取り戻せ！～本設魚道設置までの道のり～	家棟川・童子川・中ノ池川にビワマスを戻すプロジェクト
13	滋賀	滋賀県東近江市における農業排水路のエコアップ	株式会社I H I
14	滋賀	みんなでつくる野洲川のアユの産卵場	近畿地方整備局琵琶湖河川事務所
15	京都	鴨川天然アユの壁問題と井桁魚道（#魚道）	京の川の恵みを活かす会
16	京都	みんなの川塾～大手川の環境改善と流域学習～	京都府立宮津天橋高等学校フィールド探究部
17	大阪	淀川河口域の自然再生活動～石干見～	大阪市漁業協同組合
18	兵庫	福田川水系の生物多様性確保のための自然環境調査について	福田川クリーンクラブ
19	兵庫	現地研修会で清流づくり委員会と高校と県民局とのコラボに発展	千種川圏域清流づくり委員会
20	兵庫	丹波篠山市における「ふるさとの川づくり」への取り組み	ふるさとの川づくりワーキングチーム（丹波篠山市役所）
21	岡山	小さな村で始まった水域をつなぐ小さな自然再生	株式会社エーゼログループ
22	岡山	川ガキが戻りつづる 日笠川	わけっこパーク
23	徳島	川遊びから、川づくりへ！～小さな自然再生で、みんなで行う川づくり文化をつくる～	NPO法人川塾
24	徳島	神山の先達とともに、鮎喰川にもう一度、鮎を！	一般社団法人神山つなぐ公社
25	香川	サケ・マス類の自然産卵促進に向けた可搬魚道開発の挑戦	国立高専機構香川高等専門学校高橋研究室
26	高知	幼稚園と保護者と技術者が合作する、園児専用里山体験フィールド「若草幼稚園 すくすくの森」since1989	学校法人若草幼稚園
27	福岡	グリーンインフラ論「唐の原川」での小さな自然再生の実践	九州産業大学
28	福岡	山田緑地で行う水辺環境の保全・再生～魅惑の湿地帯ビオトープづくりと外来生物駆除～	北九州市立山田緑地管理事務所
29	大分	温泉観光地の親玉、大分県別府から生き物と自然の魅力を発信～亀川プロジェクト「人と温泉と生き物と」～	NPO法人北九州・魚部
30	大分	治水・利水・環境の三方よし！由布院温泉の宮川再生プロジェクト	豊かな水環境創出ゆふいん会議

2025年12月7日 『小さな自然再生サミット2025京都大会』 事例発表

3

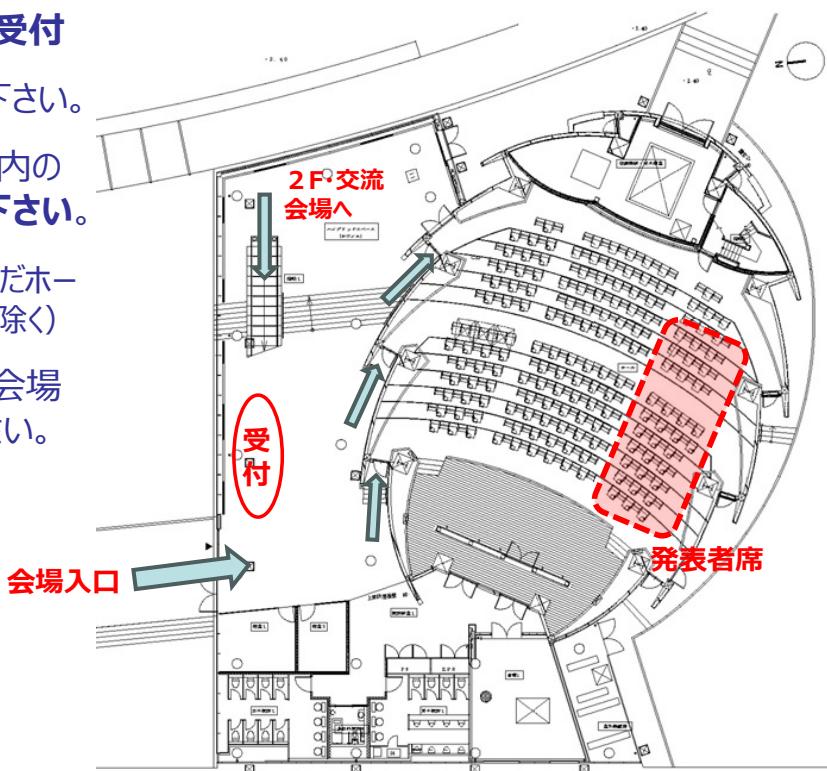
会場受付（9:20～）

- 集合時間： 9時20分
- 集合場所： 宇治おおばくプラザ内 受付
- 会場到着後、受付にて氏名をお伝え下さい。
- 受付後、メインホール（きはだホール）内の発表者席に、ご自分の席を確保して下さい。

※スーツケース等の荷物がある場合は、きはだホールの最上段に設置可能です。（貴重品除く）

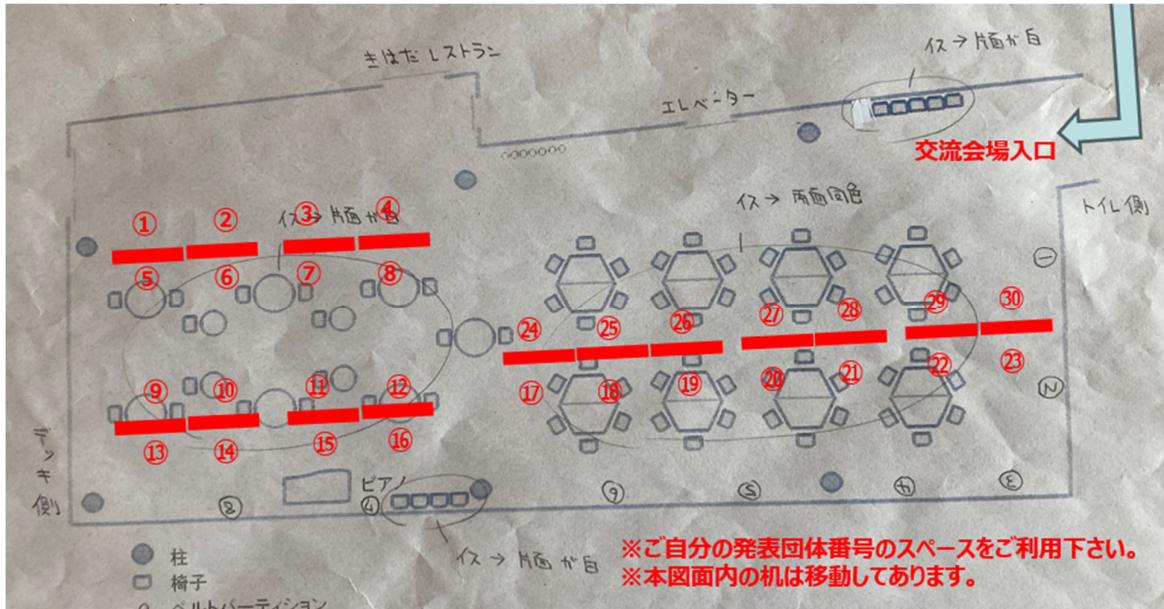
- 掲示物や配布物がある方は、2F交流会場（ハイブリッドスペース）へ移動して下さい。

※掲示物等は2Fへ各自でご持参ください。



掲示物・展示物・配布資料等の設置

- 2F交流会場（ハイブリッドスペース）では、ご自分の発表団体番号のスペースをご利用下さい。（事前に頂いた情報を踏まえ、机等を事前準備しています。）
- ポスターは各自で画鋲で貼り付けて下さい。（画鋲は会場に用意しておきます）
- 9時50分までには設置作業を終了し、きはだホールの座席にお戻り下さい。



2025年12月7日 『小さな自然再生サミット2025京都大会』事例発表

5

事例発表（10:15～12:40）

- 事例発表は、事例発表団体一覧表の順（No.1～No.30）で行います。
- 複数の発表者での共同発表（登壇）も可能です。
- 事前提出頂いたパワポ資料を演台ノートPCに保存してありますので、会場のノートPCを操作してご発表頂きます。（ご自分のPCはご利用になれません。）
- PC操作（発表者の切り替え時やトラブル時）は事務局スタッフがサポートします。
- ご自分の発表の前の発表者が終了する前に、演台前の階段下付近にお越し下さい。
- 前の発表者の発表が終わりましたら、ステージ上の演台に進んでください。
- 発表時間は、“4分間”です。
- 発表終了時間の30秒前にベルを1回鳴らします。また、4分が経過したらベルを2回鳴らしますので、速やかにご発表をまとめて終了して下さい。
- 発表終了後、演台下の階段から座席の方へお戻りください。
- 質疑応答時間はありませんので、昼休み交流時間帯に意見交換をお願いします。
- 全事例発表が終了後は、昼休みとなりますので、2階のハイブリッドスペースへ移動をお願いします。

昼食＆発表者ポスター交流（12:40～13:40）

- 昼食時間帯ですが、貴重な交流の機会ですので、2階・ハイブリッドスペースを会場に、各事例発表者と参加者の交流時間とさせて頂きます。
- 各団体の掲示スペースには、発表資料（6枚）を連ねた資料を掲示しておりますので、4分の事例発表で語り尽くせなかった話題などの補足説明や、参加者との意見交換が可能です。（追加掲示物がある団体もあり）
- 昼食時間帯ですので、お好きなタイミングで昼食をとっていただいて結構です。できれば、事例発表者は、ご自分の団体の掲示スペースにて昼食をとって頂けると幸いです。
- 但し、各団体の掲示スペースでの交流（補足説明等）はマストではありませんので、昼食をとる時間として頂いても結構です。
- 13時30分には交流時間を終了します。午後のパネルディスカッションが開催される「1階・きはだホール」へ移動して下さい。
- 掲示物・展示物等は、夕方の茶話会が終わるまで、そのままの状態としてください。（但し、茶話会を欠席される団体の方は、パネルディスカッション前に片付けをお願いします。）

その他のお願い

- 朝から夕方まで、貴重品は各自で管理をお願いします。
- 茶話会（16:10～17:00）の時間帯は、事例発表者の皆様も参加者と自由に交流して下さい。（ご自分の展示スペースにいる必要はありません）
- 茶話会が終了後、17:00～17:20の間に、ご自分の団体の展示物の片づけをよろしくお願いします。
- 展示物の片付けを終了した場所から、什器類を片付けますので、もしお時間があれば、什器類片付けもお手伝頂けると幸いです。

《お問合せ先》

当日の流れや注意事項でご不明な点があれば、サミット事務局までお問合せ下さい。

事務局メールアドレス：collabosummit2025@rfc.or.jp